

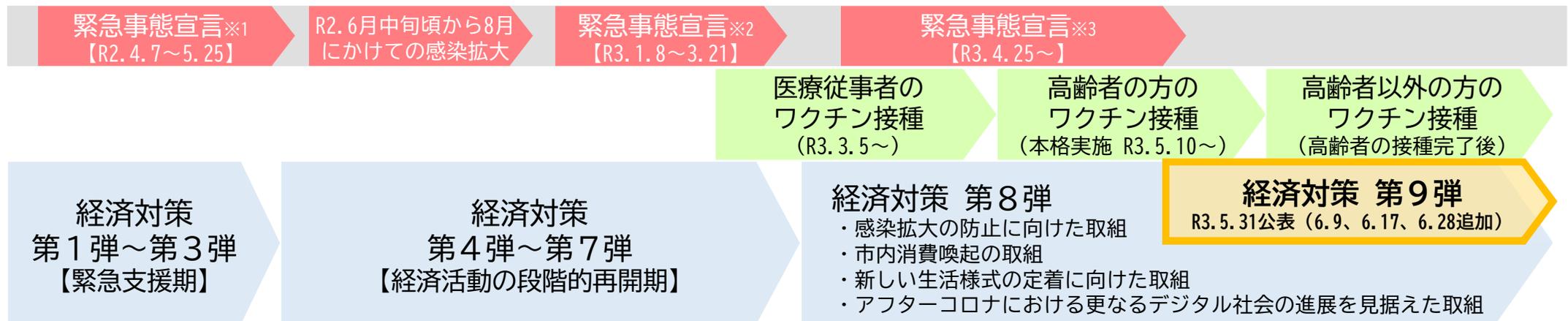
山口市新型コロナウイルス感染症経済対策 第9弾

令和3年6月28日

本市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、昨年3月以降、その時々局面に応じて、第1弾から第8弾までの経済対策を実施しており、現在、経済対策第8弾における、新型コロナウイルスワクチンの接種を始めとする感染拡大の防止に向けた取組や、「エール！やまぐち」プレミアム共通商品券の発行支援などの市内消費喚起の取組、新しい生活様式の定着に向けた取組とともに、アフターコロナにおける更なるデジタル社会の進展を見据えた取組を全力で進めています。

こうした中で、第4波といわれる全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、国においては、4月に4都府県を対象として緊急事態宣言を行い、その後も緊急事態措置区域を追加されているところです。また、本県においても、クラスターが広範に多発するなど、新規感染者数が急増している状況です。

こうした状況を踏まえ、本市では、現在実施している経済対策第8弾の取組に加えて、第4波を乗り切るための重点的な対策を行うこととしたし、感染拡大の防止に向けた取組、市民生活の安定に向けた取組、市内消費喚起の取組などの一層の強化を行うことで社会経済活動の維持を図るとともに、アフターコロナを見据えた社会の変化を成長につなげる取組を進めるための、経済対策第9弾をとりまとめました。



※1 R2. 4. 7~ 7都府県
4. 16~ 全都道府県

※2 R3. 1. 8~ 4都県
1. 13~ 11都府県
2. 8~ 10都府県
3. 1~ 4都県

※3 R3. 4. 25~ 4都府県
5. 12~ 6都府県
5. 14~ 9都道府県
5. 23~ 10都道府県

第4波を乗り越え、社会の変化を成長につなげる

【予算規模】 総額 約9億5,000万円

【事業概要】

●第4波を乗り越えるための重点的な対策

- ・ワクチン接種体制の強化 <6.17拡充>
- ・高齢者施設等の従事者へのPCR検査の実施
- ・学校活動等で県外を訪れた小・中学生等へのPCR検査の実施
- ・「子育て世帯生活支援特別給付金」の給付
- ・「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」の支給 <6.28追加>
- ・観光関連産業応援プロジェクトの実施
- ・「コロナに負けるな！やまぐち応援マルシェ」の実施

●アフターコロナを見据えた社会の変化を成長につなげる取組

- ・市内事業者の感染症対策・DXへの対応支援
- ・(参考①)湯田温泉における宿泊受入機能の維持・確保に向けた事業承継への支援
- ・(参考②)国の補正予算を活用した既存観光拠点の再生・高付加価値化に向けた取組 <6.9追加>

第4波を乗り越えるための重点的な対策 感染拡大の防止に向けた取組

補正4号【予算額：31,460千円】
補正5号【予算額：130,000千円】

事業概要

新型コロナウイルスワクチンの接種を希望される方が速やかに接種を受けられるよう、接種体制の更なる強化を図ります。

① ワクチン接種体制の強化

≪接種単価の加算≫ (予防接種事業費)

【予算額：31,460千円】

【内 容】 時間外・休日におけるワクチン接種を行う医療機関への支援として、時間外・休日の被接種者1人当たりの単価について、加算を行います。

【接種単価】 時間外：2,070円/回 → 2,800円/回 に増額
休 日：2,070円/回 → 4,200円/回 に増額

② ワクチン接種体制の強化

≪予約相談体制の充実、集団接種の追加実施≫ (予防接種事業費)

【予算額：130,000千円】

R3.6.17拡充

【内 容】 7月末までに、ワクチン接種を希望する高齢者の方への接種を完了するため、国の追加支援を活用し、ワクチン接種体制の更なる強化を図ります。

【拡充する取組】

- 接種に関する相談体制の充実
 - ・接種予約・相談センターにおける受付スタッフの増員（10名→20名） など
- 集団接種の追加実施
 - ・6月 6日（日）維新百年記念公園
 - ・6月13日（日）山口県総合保健会館
 - ・6月20日（日）山口きらら博記念公園

担当課：健康福祉部 健康増進課（電話：083-921-2666）

第4波を乗り越えるための重点的な対策

感染拡大の防止に向けた取組

補正4号【予算額：52,500千円】

事業概要

重症化リスクの高い高齢者等の入所施設における感染拡大の防止や、小・中学生が安心して学校活動等を行える環境づくりに向けて、任意のPCR検査を実施します。

①高齢者施設等の従事者へのPCR検査の実施 (保健活動費) 【予算額：37,500千円】

- 【内 容】 高齢者施設等に従事する職員の方を対象としたPCR検査を実施します。
- 【対象施設】 介護保険・障がい者福祉・高齢者福祉の入所施設、一部入院医療機関など
- 【実施期間】 令和3年7月中 ※実施期間中に各施設1回

担当課：健康福祉部 健康増進課（電話：083-921-2666）

②学校活動等で県外を訪れた小・中学生等へのPCR検査の実施 (学校保健事業費) 【予算額：15,000千円】

- 【内 容】 小・中学校における学校活動等（修学旅行、部活動等）で県外を訪れた児童・生徒・教職員を対象としたPCR検査を実施します。
- 【対 象】 市立小・中学校及び山口大学附属小・中学校の児童・生徒・教職員
- 【検査時期】 県外での学校活動等から戻った後、2～3日以内
- 【実施期間】 令和3年7月～令和4年3月末

担当課：教育委員会 学校教育課（電話：083-934-2862）

第4波を乗り越えるための重点的な対策 市民生活の安定に向けた取組

補正1号【予算額：132,823千円】
補正3号【予算額：159,587千円】

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ひとり親世帯等における経済的負担の増加や、収入の減少に対する支援として、給付金を支給します。

「子育て世帯生活支援特別給付金」の給付 (子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費)

(1) ひとり親世帯への給付 **4月7日専決分** 補正1号【予算額：132,823千円】

(2) その他の世帯への給付 **5月19日専決分** 補正3号【予算額：159,587千円】

【支援内容】 児童1人につき一律5万円を給付

【対象者】

(1) ひとり親世帯

- ・ 児童扶養手当を受給している方
- ・ 公的年金等を受給していることにより、児童扶養手当を受給していない方
- ・ 児童扶養手当は受給していないが、新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変し、収入が児童扶養手当受給者と同じ水準となっている方

(2) その他の世帯

児童手当受給者、特別児童扶養手当受給者、新規児童手当受給者、新規特別児童扶養手当受給者、平成15年4月2日～平成18年4月1日に出生した児童の養育者 など

※上記のうち、以下のいずれかの条件に該当する方

①令和3年度分の住民税均等割が非課税である方

②新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変し、①と同様の事情にあると認められる方

【支給時期】

(1) ひとり親世帯：令和3年4月以降（実施中）

(2) その他の世帯：令和3年7月以降

担当課：こども未来部 こども未来課（電話：083-934-2797）

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に資金が必要な方への緊急貸付として実施されている「緊急小口資金等の特例貸付制度」について、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、既に貸付限度額に達するなどの事情により、特例貸付制度を利用できない世帯への支援として、給付金を支給します。

「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」の支給 (新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費)

R3.6.28追加

【予算額：33,926千円】

【支給額】 ・単身世帯：6万円（月額） ・2人世帯：8万円（月額） ・3人以上世帯：10万円（月額）

【支給期間】 3か月

【対象要件】 「緊急小口資金等の特例貸付」を利用できない世帯で、(1)～(3)の要件を全て満たしていること

(1) 申請月の世帯収入が次の金額以下であること

①市民税均等割非課税額の12分の1 + ②生活保護住宅扶助費基準額

(2) 世帯の預貯金額が上記①の6倍以下（ただし100万円以下）であること

(3) ハローワークでの相談等の求職活動を行っていること又は生活保護を申請中であること

【申請受付】 令和3年7月1日から令和3年8月31日まで

担当課：健康福祉部 地域福祉課（電話：083-934-2791）

第4波を乗り切るための重点的な対策

市内消費喚起の取組

補正4号【予算額：145,000千円】

事業概要

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている観光関連産業の活性化や市内農林水産物の販売促進に向けた支援を行います。

①観光関連産業応援プロジェクトの実施 (商工業振興対策事業費) 【予算額：135,000千円】

- 【内容】市内宿泊施設を起点とした消費喚起を図るため、県が実施する『行こうよ。やまぐちプレミアムキャンペーン』期間中に、市内宿泊施設の宿泊者を対象として、特産品等を取り扱う土産物店等で利用できるクーポン券を配布します。
- 【発行枚数】1,000円券×12万枚(宿泊者6万人分)
- 【配布方法】クーポン配布施設として登録された宿泊施設の宿泊者(1泊5,000円以上に限る)に対し、1回につき2枚(2,000円分)を配布(※連泊は1回として扱う)
- 【配布期間】令和3年8月1日～10月8日を予定(先着順に配布し、クーポンがなくなり次第終了)
- 【利用期間】チェックインの日から令和3年10月31日まで
- 【対象店舗】主として観光客が利用し、市内に店舗・事務所を有するもの(コンビニ等は対象外)
※令和3年7月9日から配布宿泊施設及び利用可能店舗の登録募集を開始予定



担当課：経済産業部 ふるさと産業振興課 (電話：083-934-2812)

②「コロナに負けるな！やまぐち応援マルシェ」の実施 (もうかる農業創生事業費) 【予算額：10,000千円】

- 【内容】新型コロナウイルス感染拡大により長引く外食産業の需要減に伴い、在庫の滞留や価格の低下、売上げの減少等の影響を受けている市内農林水産物の生産者への支援として、令和2年度に実施した農林水産物の販売促進イベント「コロナに負けるな！やまぐち応援マルシェ」を実施します。
- 【実施場所】中心商店街周辺 【実施時期】令和3年9月以降



担当課：経済産業部 農林政策課 (電話：083-934-2815)

事業概要

商店街事業者や飲食店等で構成される市内中小企業団体における感染症対策としての取組や、コロナ禍を契機に加速化したデジタル化の流れに柔軟に対応し、経営基盤の強化や新事業展開につなげていくための取組を支援します。

市内事業者の感染症対策・DXへの対応支援 (商工業振興対策事業費) 【予算額：259,000千円】

【補助対象者】 料飲組合、商店街振興組合、商工団体など

【対象事業】 ①感染症対策

感染防止対策に必要な機器等の導入、感染防止対策に係るセミナーの開催 など

②DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応

団体独自のデジタルクーポン券等の発行、キャッシュレス化の促進につながる取組 など



【補助金額】 各団体の「構成員数」や「実施する取組」に応じて補助上限額を設定

◆「構成員数」により、補助上限額の基本額を設定
10以下⇒補助上限額50万円 / 201～300⇒補助上限額500万円 / 501以上⇒補助上限額1,000万円 など

◆「実施する取組」に応じて、補助上限額を加算
例1) 構成員数10以下の団体が行うDXへの対応⇒補助上限額100万円（基本額の2倍）
例2) 構成員数10以下の団体が行う「デジタルクーポン券等の発行」⇒補助上限額250万円（基本額の5倍）
※ただし、「デジタルクーポン券等」のプレミアム率は30%以内とします。

【申請受付】 令和3年7月1日～令和4年2月28日

※複数団体での共同申請も可能です。

※各団体の申請は2回までとします。（予算がなくなり次第終了）

ただし、「デジタルクーポン券等の発行」は、各団体で原則1回までとします。

参考①

湯田温泉における宿泊受入機能の維持・確保に向けた事業承継への支援 (湯田温泉魅力創造事業費)※

【概要】

本市の宿泊拠点である湯田温泉エリアにおける宿泊受入機能の維持・確保に向けて、これまでコロナ禍の影響により廃業された宿泊施設の事業承継への支援制度を創設します。

【支援内容(案)】

①施設の取得に対する支援

施設を取得し、営業を開始した日以後、最初に固定資産税が賦課される年度から3年度間の各年度の固定資産税額に相当する額を支援(3年間)

②従業員の雇用に対する支援

対象施設における市内在住者の雇用に対し、常用従業員1人につき40万円(新規学卒者は50万円)、短時間従業員1人につき15万円を支援

【支援対象】

「(仮称)山口都市核づくりビジョン」に位置付ける湯田温泉ゾーンのうち、温泉街エリアにおいて、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの間に廃業した宿泊施設を承継する事業者

※ 予算措置について

制度の創設及び制度の周知等は現計予算により対応し、支援金については、具体的な案件が生じた際に補正予算を計上する予定です。

温泉街エリア

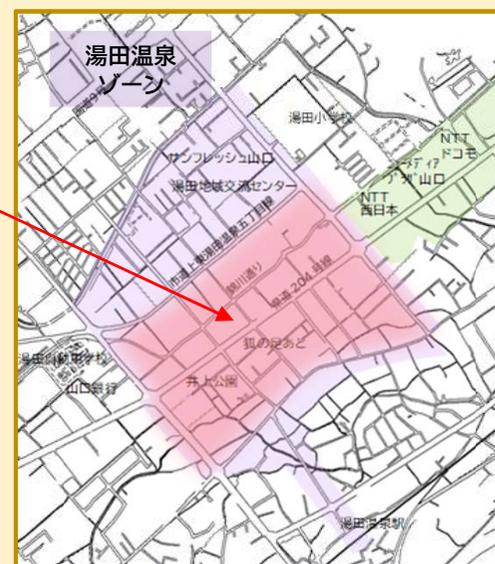


図:対象エリアのイメージ
「(仮称)山口都市核づくりビジョン(素案)」から抜粋

【概要】

新型コロナウイルスの影響を乗り越え、地域全体の魅力と収益力の向上を図るため、宿泊受入機能の強化や交流創出の取組を内容とし作成した、本市の「観光拠点再生計画」が、国の「既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業（令和2年度第3次補正予算）」に採択されました。観光関連産業を始めとした地域経済の活性化に向けて、宿泊事業者や交通事業者、商工・観光団体等と本市が連携し、当該計画に位置付けた取組を一体的に進めます。

【計画地域】

宿泊拠点である「湯田温泉」及び交通結節点である「新山口駅」を中心とした地域

【計画の参加者】

湯田温泉旅館協同組合、新山口駅周辺ホテル連絡協議会、防長交通株式会社、山口市公共交通委員会
山口商工会議所、山口商工会議所青年部、山口観光コンベンション協会、株式会社湯田温泉研究所
西日本旅客鉄道株式会社、日本旅行株式会社、山口市

【事業内容】

- (1) 宿泊受入機能の強化（事業費：約114,000千円）
 - ① 宿泊施設の高付加価値化改修（滞在環境等の上質化や新たなサービスの提供などに資するもの）
湯田温泉及び新山口駅周辺の3施設が事業実施予定
 - ② 宿泊施設の換気・感染症対策等設備導入
湯田温泉及び新山口駅周辺の5施設が事業実施予定
- (2) 交通に関する取組（事業費：約4,000千円）
 - ・路線バスで旅する山口 - 秋芳周遊フリー切符の販売
 - ・公共交通フェスタの開催
- (3) 交流創出に向けた実証事業（事業費：約130,000千円）
 - ・歴食サミット2022「令和歴食合戦」 ・ Chocofuror Yamaguchi!事業 ・ FAMILY FESTIVAALI～GO OUT YAMAGUCHI～
 - ・ARを活用した大内文化ゾーンそぞろ歩き促進実証実験 ・ 山口ヘルスツーリズム拠点化実証実験
 - ・SLやまぐち号を軸にした新山口駅 - 湯田温泉周遊イベント事業 ・ 湯田温泉トータルプロデュース事業 など

※「観光拠点再生計画」における事業の実施に当たっては、各事業の実施主体がそれぞれ補助金交付の申請手続きを行い、国から各実施主体へ直接、補助金が交付されます。